

安全データシート

作成 2017 年 3 月 23 日
改訂 2023 年 3 月 1 日

1. 製品名及び会社情報

製品名 : 水酸化ナトリウム水溶液 (約 4%)
会社名 : 株式会社ナリカ
住所 : 東京都千代田区外神田 5-3-10
TEL : 03-3833-0741
FAX : 03-3833-0743

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

皮膚腐食性・刺激性 : 区分 1
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 : 区分 1
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 2 (呼吸器系)
水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 3 (水生生物に有害)
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない。

【GHS ラベル要素】



注意喚起語: 危険

【危険有害性情報】

- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・呼吸器の障害のおそれ

【安全対策】

- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・適切な保護具 (保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面) を着用すること。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

【応急処置】

4. 応急処置を参照。

【保管】

7. 取り扱い及び保管上の注意を参照。

【廃棄】

13. 廃棄上の注意を参照。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物 (水溶液)

化学名または一般名	含有量 (w/w)	化学式	分子量	化審法	CAS No.
水酸化ナトリウム	約 4%	NaOH	40.00	(1)-410	1310-73-2

4. 応急処置

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努めること。気分の悪い場合には、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合: 多量の水及び石鹼で洗い流すこと。症状が続く場合には、医師の診断を受けること。
眼に入った場合: 清浄な水で数分間洗眼したのち、直ちに眼科医の診断を受けること。
飲み込んだ場合: 口をすすぎ、無理に吐かせない。意識のない場合は何も与えないこと。医師の診断を受けること。
応急措置をする者の保護: 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の処置

消火剤: この製品自体は燃焼しない。現場の状況及び周囲の環境に適した消火剤を使用する。
特有の危険有害性: 熱分解によって刺激性で有毒なガスと蒸気が発生するおそれがある。
消火を行う者の保護: 状況に応じて呼吸保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】

屋内の場合、処理が終わるまでに十分に換気を行い、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止すること。
作業の際には適切な保護具を着用し、風上から作業して、風下の人を退避させること。

【環境に対する注意事項】

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意すること。

【回収、中和】

少量の場合、乾燥土、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収すること。漏洩した場所に、希酸を散布し中和したのち多量の水で洗い流す。酸で中和する際、発熱することがあるので注意すること。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

【取り扱い】

技術的対策:酸性物質との接触を避ける。必要に応じて局所排気装置を使用すること。

注意事項:容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。使用後は容器を密閉する。

安全取り扱い注意事項:適切な保護具を着用すること。

【保管】

適切な保管条件:直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管すること。

混触禁止物質:酸類、酸性物質

安全な容器包装材料:ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

【許容濃度】

ACGIH (2006): TLV-STEL 2mg/m³

日本産業衛生学会 (2006): 2mg/m³

【保護具】

・保護マスク ・保護手袋 ・側板付き保護眼鏡 ・長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

形状 :液体

色 :無色透明

臭い :無臭

pH :強塩基性

比重 :データなし

溶解性 :水、アルコール類に混和する。

10. 安定性及び反応性

安定性:空気中の炭酸ガスを吸収しやすい。

混触危険物質:酸類、酸性物質

危険有害反応可能性:データなし

危険有害な分解生成物:金属と反応し可燃性ガス(水素)を発生する。

避けるべき条件:直射日光、高温、空気

11. 有害性情報

皮膚腐食性・刺激性:CAS 番号 1310-73-2 が 1%以上のため、区分 1 に該当。

眼に対する重篤な損傷・刺激性:CAS 番号 1310-73-2 が 1%以上のため、区分 1 に該当。

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露):CAS 番号 1310-73-2 が 1%以上のため、区分 2(呼吸器)に該当。

12. 環境影響情報

水性環境有害性(短期/急性):48 時間 LC50=40mg/L (甲殻類)

水性環境有害性(長期/慢性):環境水中では緩衝作用により毒性影響が緩和されるため区分に該当しない。

生体蓄積性:データなし

13. 廃棄上の注意

内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	品名	国連分類	容器等級
1824	水酸化ナトリウム溶液	8	III

15. 適用法令

消防法

:非該当

毒物及び劇物取締法

:非該当

労働安全衛生法

:法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9[名称等を通知すべき危険物および有害物]
労働安全衛生規則第 326 条に規定する腐食性液体

船舶安全法

:危規則第 3 条危険物告示別表第 1 腐食性物質

航空法

:施行規則第 194 条危険物腐食性物質

海洋汚染防止法

:施行令別表第 1 有害液体物質(Y 類)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

:非該当

16. その他の情報

【参考文献】

1. 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ(改定第 2 版) 化学工業日報社(2007)

2. GHS 分類マニュアル GHS 関係省庁連絡会議編(2006)

3. 化学大辞典共立出版(1991)

4. 安衛法化学物質(1991)

5. (独)製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」

本データシートは試薬に関する一般的な取り扱いを主に記載しており、試薬以外としての取り扱い及び大量取り扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報入手した場合には追加又は訂正される事があります。

記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施して下さい。